学校番号	２１３

平成３１年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校 改訂版 政治･経済」(第一学習社)						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・民主主義の本質を理解し、社会の一員としての自覚を持つ。
・世界情勢を把握し、国際平和に向けて考察する。
・経済知識を身に付け日本経済の在り方を考える。

2　学習の到達目標

・広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深める。
・現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解する。
・諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し､その知識を身に付けている。
評価方法	・授業観察 ・発問評価 ・長期休暇の提出課題 ・レポート	・ワークシート ・発問評価 ・レポート ・定期考査	・ワークシート ・レポート ・定期考査	・ワークシート ・レポート ・小テスト ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第1編　現代の政治 第1章　民主政治の基本原理と日本国憲法	・政治と法の機能 ・人権保障と法の支配 ・議会制民主主義と世界の政治体制	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a: 私たちの生活が、政治と深く関わっていることについて、意欲的に理解を深めようとしている。 b:民主主義と議会制民主主義の意義について考察している。 c:各国の政治体制や民主主義の状況を、新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集・調査している。 d:基本的人権を獲得するまでの経緯について理解している。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
		・日本国憲法の基本原理 ・平和主義と自衛隊 ・基本的人権の保障と新しい人権	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:日本国憲法をめぐる論点について関心を高める。 b:大日本帝国憲法と日本国憲法の違い、憲法の本質について理解し、自由権や社会権、参政権などの基本的人権や新しい人権について本質を把握している。 c:新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集・調査している。 d:日本国憲法の成立過程を把握しながら、日本国憲法の三大原理について理解する。天皇の地位と役割について、国民主権と関連させて理解している。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
		・国会の組織と立法 ・内閣の機構と行政 ・裁判所の機能と司法制度	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:主権者としての政治に対する関心を高めるとともに、それぞれの役割について理解する。 b:日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、問幅広い視点から考察し、基本的事項について把握している。 c:新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集・調査している。 d:法律の制定過程や委員会制度、衆議院の優越など、国会のしくみを理解している。国会と内閣の関係を理解しながら、内閣の権限について理解している。裁判のしくみや裁判員制度について理解している。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査

2学期		・政党政治と選挙制度 ・民主政治における世論の役割	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:政党政治や選挙などを理解しながら、政治への関心を高める。 b:日本の選挙制度についての長所と短所を把握しながら、日本の選挙制度における、一票の格差などの具体例をもとに考察している。 c:教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し、活用している。 d:地方自治制度と国政の違いについて理解し選挙制度の種類や、現在の日本の選挙制度について理解している。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
	第2章　現代の国際政治と日本	・国際社会と国際法 ・国際連合の組織と役割 ・国際政治の動向 ・国際紛争と難民問題	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○	a:現在、世界で起きているさまざまな出来事について、関心が高まっている。 b:冷戦終結後の世界は課題が多様化していることを理解した上で、国際社会で発生するテロの原因について考察し、国連の果たす役割について把握しながら、国連の抱える問題点などについても考察している。 c:教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し、活用している。 d:冷戦期の国際社会の出来事について理解している。冷戦終結後の世界には、新たな問題が起きていることを理解している。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
	第2編　現代の経済　第1章　現代経済のしくみと特質	・経済社会の発展 ・経済主体と経済活動 ・市場経済の機能と限界 ・経済成長と景気変動	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:三つの経済主体が、どのように経済活動を営んでいるかについて、意欲的に理解を深めようとしている。 b:独占や寡占の弊害を取り除くために独占禁止法が定められていることをふまえて、市場における競争について考察している。 c：国民所得の構成や景気変動、経済成長の現状について、新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用している。 d:需要曲線と供給曲線の意味と、それらがどのような場合にシフトするかを理解し、現実には、市場の失敗など、価格機構が十分に機能しない場合があることを理解している。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査

		・物価の動き ・金融のしくみとはたらき ・財政のしくみとはたらき ・日本経済の歩み	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:租税の意義について理解する。金融政策や財政政策にかかわる事柄に対する関心を高め、戦後・高度経済成長期・バブル経済後について、意欲的に理解を深めようとしている。 b:金融市場の種類について考察し、デフレは景気後退や不況と結びついて経済に影響を与えることを理解し、景気対策としての金融政策や財政政策に理解を深めながら考察している。 c：教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し、活用している。 d:済成長の健全な発展のためには、金融政策が重要であることを理解している。国民生活における租税の意義と役割について理解している。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
3学期	第3編　現代社会の諸課題 第1章　現代日本の政治や経済の諸課	・少子高齢社会と社会保障 ・雇用と労働をめぐる問題 ・地球環境と資源・エネルギー問題	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:現代の日本が抱えている課題について、関心を高めている。 b:それぞれの問題を多角的、多面的に探究し、望ましい解決方法を考察している。 c:教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し、活用している。 d:政治と経済は密着しており、互いに影響を与えていることを理解している。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。